

泉中学校区説明会（まとめ）

日時	平成 28 年 8 月 23 日（火） 午後 7 時～8 時 30 分
参加者	校区、自治会、保護者 ほか 65 名 市（教育委員会 ほか） 7 名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泉中学校再編検討委員会委員長あいさつ ・ 教育部長あいさつ ・ 資料説明：泉中学校の統合先及び統合時期の方針案について ・ 質疑応答

【 説明会における主な質疑、意見（抜粋） 】

Q 1：平成 31 年度までの統合は、本日の説明で難しいことがわかった。

平成 32 年度の統合であれば、部活動、先生方の配置も含め間に合うのか。

A 1：部活動の課題をクリアするために十分に話をする時間はできます。ただし、その他の状況もあるので、全て解決できるかどうかはわからないが、できる限りの検討はできます。統合の年度が分散されると教職員の配置面などは教育委員会の立場としては助かります。

皆さんの意見が平成 32 年度の方角を望むなら、平成 33 年度の統合がベストと思って市は提案していますが、よく考えさせていただきます。（市）

Q 2：赤羽根中学校への統合とのことだが、赤羽根中学校区側がどういうお考えなのか。

A 2：コミュニティ協議会長の会議では、赤羽根の 3 校区会長から「統合は大歓迎であり、ぜひとも早く来てほしい」と聞いている。（委員長）

意見 1：事務局から統合のための準備の大変さについて説明があった。それは赤羽根中学校区側がどう考えているかによっても違って来る。表面に出た考えだけでなく、赤羽根の生徒、保護者等の声をよく把握してほしい。

Q 3：統合する場合の泉中学校と赤羽根中学校間のすり合わせなど、教育委員会も苦しいだろうが現場の教員の負担も大変だと思う。

教職員の定員は減となっても、特例的な措置はできないのか。

A 3：県から配置されている教職員は、統合前の準備段階では現有の人数でやらざるをえない状況です。統合年度には、要望により定員を 1 名ふやして負担軽減が行われた例があります。（市）

Q 4：最初、編入という言葉も出ていた。統合と考えていいのか。

教育委員会から「みんなでつくり上げていく」と言っていたのであれば納得できるが、「入っていく」という言い方だった。

A 4：赤羽根中学校へ行って、新しい学校を一緒につくり上げていくと考えればいい。（委員）

A 4：赤羽根中学校へ行って、赤羽根の子、泉の子や地域がみんなと一緒に学校をつくっていくと考えています。（市）

意見 2 : 再編検討委員会では「統合は早いほうがいい」との意見を聞いているが、教育委員会の説明や、部活動や夏休みなど全てスクールバスで対応できるか疑問に思うので、道路環境の問題が心配である。また、現在の中学 1 年生はすでに泉中学校の制服、体操服を購入して通学している。事前に統合先の制服や体操服を購入するなど準備ができてから統合する方がいい。

Q 5 : 福江中学校には路線バスがあるが、赤羽根中学校には路線バスはない。
通学方法は決まっているのか。

A 5 : スクールバスの予定です。

Q 6 : 野田中学校の場合、夏休みの部活動は路線バスだけで通学しているのか。

A 6 : 野田地域の生徒が田原中学校に通学する場合、夏休み期間も路線バスを利用して通学します。(市)

意見 3 : スクールバスでは、通学時間が長くなり子供に負担がかかる。スクールバスで対応しきれない場合など、自転車での登下校も想定されるので、道路整備の予算面がはっきりしてから統合の方がいいのでは。方針案の平成 33 年度の統合なら、伊良湖岬中学校の統合の様子を参考にできる。

Q 7 : 泉中学校の統合時期は、平成 33 年度がベストと考えられたようですが、平成 32 年度の統合との違いは。

A 7 : 人数面や学校側の関係など、総合的に考えて平成 33 年度を提案しています。

Q 8 : 平成 33 年度の人数が多いときに統合する方がいいのか、おくれで平成 34 年度にして、泉校区の生徒数が各学年 20 人台になってからの統合の方が、スクールバスの関係なども、うまく回るのではないか。

なぜ、中学 3 年生が 1 番多いときにあえて統合するのか。

A 8 : スクールバスの運行上、良い面もあるかもしれません。

中学 1 年生、2 年生でも負担はかかりますが、中学 3 年生は部活動や入試の関係など特別だと考えています。

Q 9 : 泉小 P T A のアンケート結果では平成 30 年度の統合希望者が多い。また平成 31 年度から平成 34 年度までの統合などいろいろ意見が出た。1 番大事なのは、子供がどう考えているかだと思う。「早く統合時期を知りたい」、「早く行きたい」という子供の声をよく聞く。教職員の配置問題については、統合した学校に少し多く教職員を配置していただけないのか。統合時期は、伊良湖岬中学校と一緒にいい。

A 9 : 教員の配置は法で学級数に応じて決められています。平成 30 年度の統合の場合には、2 クラス増の予定です。赤羽根中学校の教員は 2 名しかふえません。(市)

意見 4 : 泉地域では慎重論が非常に根強かった。慎重論の根強さが、伊良湖岬中学校と泉中学校の統合時期の 2 年差にあらわれている。一方で、保護者としては、「どうせ統合するなら早く」という意見も強い。